

# 課題名：ナス栽培における効率的な天敵利用技術の普及

## ねらい

ナスはミナミキイロアザミウマ防除に多大な労力を要するとともに、薬剤抵抗性が発達し防除に苦慮しています。

全国的には天敵を活用した生物的防除技術が広がっており、土着天敵温存植物(インセクタリアープラント)による効率的誘因・温存法の研究が進んでいます。

天敵温存植物の植栽を核とした土着天敵活用技術を生産現場に普及することにより、防除作業の労力軽減や薬剤抵抗性の発達抑制を図り、持続的で安定的な生物多様性農業生産を実現します。

## 活動地域・対象

地域：県内全域（徳島市、阿波市、美馬市、三好市、板野郡、海陽町）

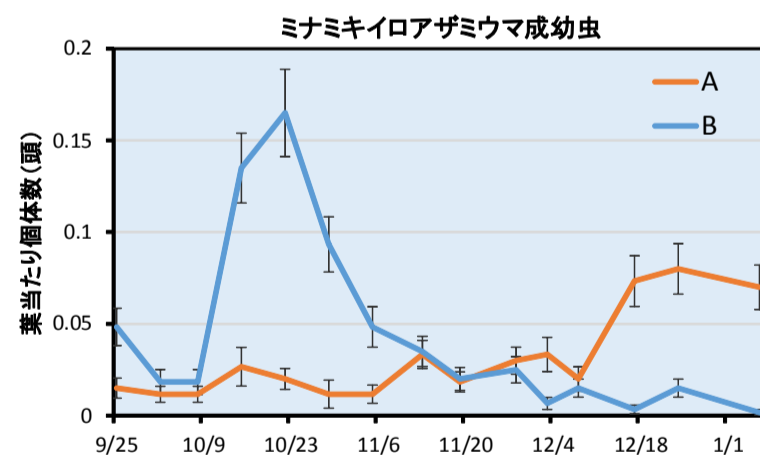
対象：夏秋ナス生産者

## 普及活動の目標

- 1 土着天敵を活用した防除体系を県内全域に普及します。
  - ・天敵温存植物の効率的な利用技術の普及
  - ・土着天敵を有効に活用するための農薬使用方法の普及
- 2 防除労力軽減と薬剤抵抗性発達抑制を実現します。
  - ・土着天敵活用による防除回数の削減、薬剤抵抗性発達の抑止

## 目標に向けた活動概要

- 1 実証展示ほの設置、土着天敵とアザミウマ類の発生調査、効果分析
- 2 成果の周知：現地検討会・説明会の開催
- 3 技術指導：講習会、個別指導
- 4 成績検討会の開催



現地検討会の様子



展示ほのクレオメ植栽状況  
タバコカスミカメ温存植物



天敵をルーペで観察する  
生産者(右)

## 普及活動の成果

### 1 実証ほにおける調査結果

- ①実証ほにおいて温存植物のゴマ、クレオメを植栽し、露地ナスとハウスナスで土着天敵のタバコカスミカメをリレー形式で周年定着させることができた。これを「ゴマ回し」と称することとした。
- ②露地、ハウスともミナミキイロアザミウマの発生を1葉当たり0.2匹以下の低密度で抑止することができた。
- ③スワルスキーカブリダニはハウスナス栽培の前半で活用することができず。
- ④天敵に優しい農薬と天敵温存植物の利用により防除回数を大幅に削減できます。

### 2 成果の周知

現地検討、実績説明会(講習会)を計5回実施し、技術の周知と生産者の意識が高まりました。

### 3 技術指導

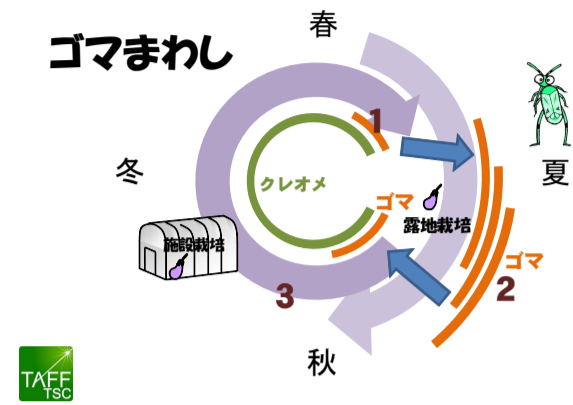
展示ほ成果をもとに、講習会や個別指導で指導者や生産者の技術の向上が図れた。

### 4 成績検討会

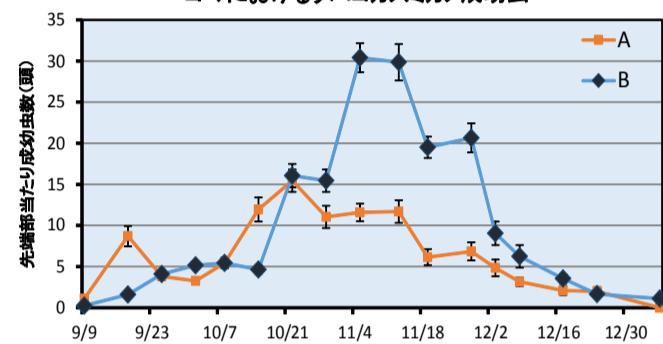
成果の周知と今後の取り組みの方向性を示しました。

露地 ↔ 施設: タバコカスミカメの循環利用

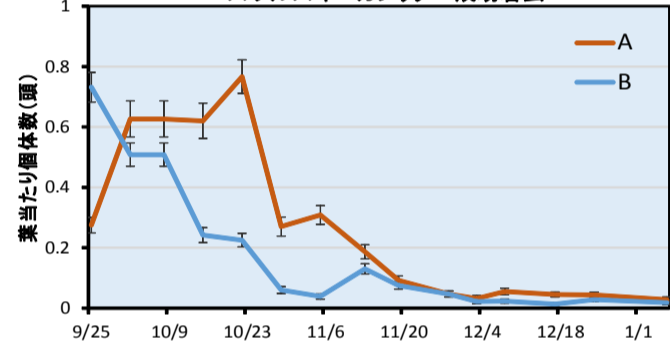
#### ゴマまわし



ゴマにおけるタバコカスミカメ成幼虫



スワルスキーカブリダニ成幼若虫



ハウスナスでの天敵の発生推移

用語  
説明

天敵温存植物 (インセクタリープランツ):  
害虫を食べてくれる天敵などを誘引したり、その餌源となる花蜜などを提供することで天敵の活動を高める、いわば「天敵のレストラン」のような植物

## 今後の発展方向

- 1 ナス以外でも天敵利用の機運が高まる状況にあることから、キュウリ、イチゴ、スタチ、ミカン等でも、天敵を活用したIPM技術の普及を図ります。

## 関係者からの声

- 展示ほ実施産地のJA、生産者からは、取り組みを続けてほしいとの意見をいただいています。
- 展示ほ実施以外の産地でも指導を強めてほしいとの意見を頂いています。

農林水産総合技術支援センター高度技術支援課

連絡先: 徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel: 088-674-1922